

栗東市の農業に関する市民アンケート調査結果（概要）1/2 令和3年1月

◆調査の目的

本調査は、市民（消費者）の農業とのかかわりや栗東市の農業に対するイメージ、都市と農村の交流のあり方など、栗東市民の暮らしを取り巻く農業の現状及び意向等をお聞きするために実施しました。

調査結果は、市民とともにある農業のあり方等をふまえ、本市の農業が目指すべき将来像及び施策の方向性等を定める『(仮称)栗東市農業振興基本計画』検討のための基礎資料として活用します。

◆調査の概要

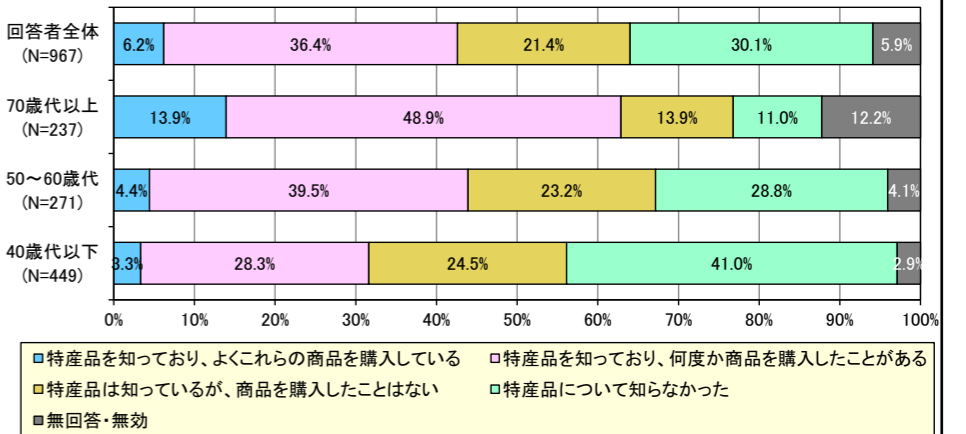
調査対象	令和2年9月1日現在 16歳以上の栗東市在住の市民2,000名（無作為抽出）
調査方法	郵送による配布（2,000票）、回収
調査日	令和2年10月8日（木）発送～10月30日（金）投函締切
回収数	有効回収数967票（有効回収率48.4%）

- ・地元農産物を購入する理由として、「新鮮だから」が最も多く、次いで「安全だと思うから」「旬の素材が手に入る」などが挙げられています。
- ・地元農産物を購入しない理由として、「売場が家の近くにない」「購入できる場所を知らない」「値段が高そうだから」などが挙げられています。

◇栗東市の特産品について

- ・栗東市の特産品（いちじく、米、軟弱野菜など）について、回答者の6割強が特産品を認知しており、また4割強が購入したことがあります。（図③）
- ・一方で、回答者の3割程度が特産品を認知しておらず、特に若い年代ほど「特産品について知らなかった」とする割合が高くなる状況となっています。（図③）

図③栗東市の特産品について(回答者全体及び年齢区分別)



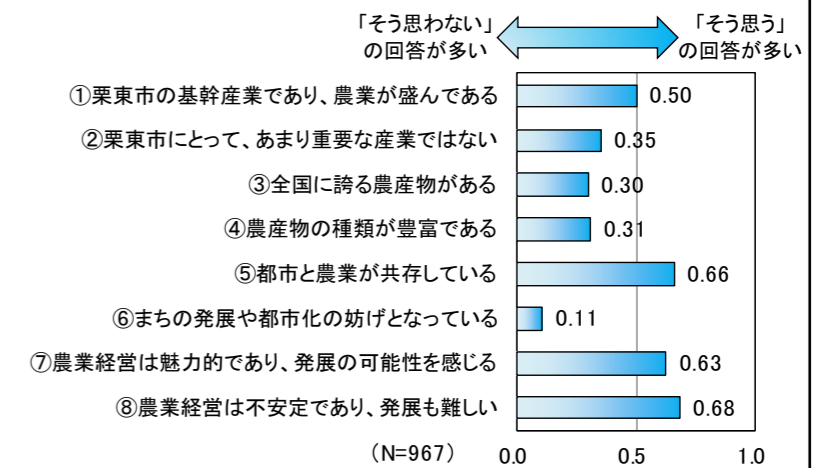
- 地元農産物は、「新鮮」「安心」等との理由でよく購入されていますが、購入場所が分からないため購入できないとの意見があります。
- 栗東市の特産品について若い世代の認知度が低いなど、栗東市の農業に関するPRや普及啓発の強化充実が求められます。

栗東市の農業について

◇栗東市の農業のイメージ（3段階評価）

- ・栗東市の農業のイメージについて、『『そう思う』とした回答者が多い項目として「⑧農業経営は不安定」、「⑤都市と農業が共存」、「⑦農業経営は魅力的」などが挙げられます。（図④）
- ・『『そう思わない』とした回答者が多い項目として「⑥まちの発展や都市化の妨げとなっている」、「③全国に誇る農産物がある」、「④農産物の種類が豊富である」などが挙げられます。（図④）

図④栗東市の農業のイメージ(評価点※)



※評価点：特にそう思う=2点、そう思う=1点、そう思わない=0点とし、それぞれの回答者数に点数を乗じたものを合算し、回答者一人あたりに割り戻した値（無回答、無効を除く）。

主な調査結果

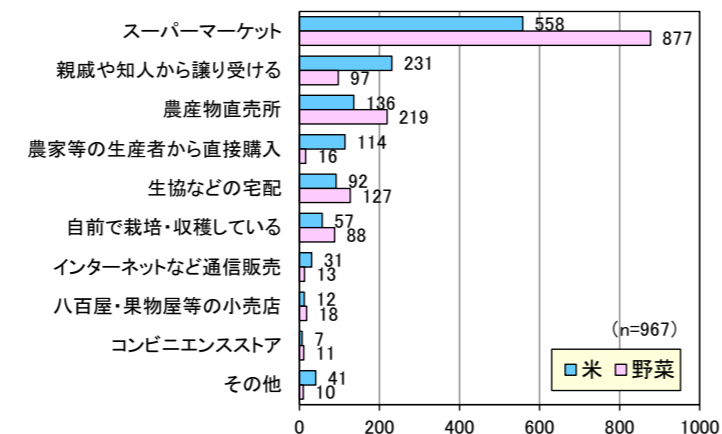
※グラフ中の（n=数値）はサンプル数を示します。

農産物の購入状況について

◇農産物（米、野菜）の購入状況

- ・主な購入先として、米、野菜ともにスーパーマーケットが最も多く、次いで、米では「親戚や知人から譲り受ける」及び「農産物直売所」、野菜では「農産物直売所」及び「生協などの宅配」となります。（図①）
- ・購入する際に重視することとして、「新鮮さ」が最も多く、次いで「国内産」、「価格が安い」となります。

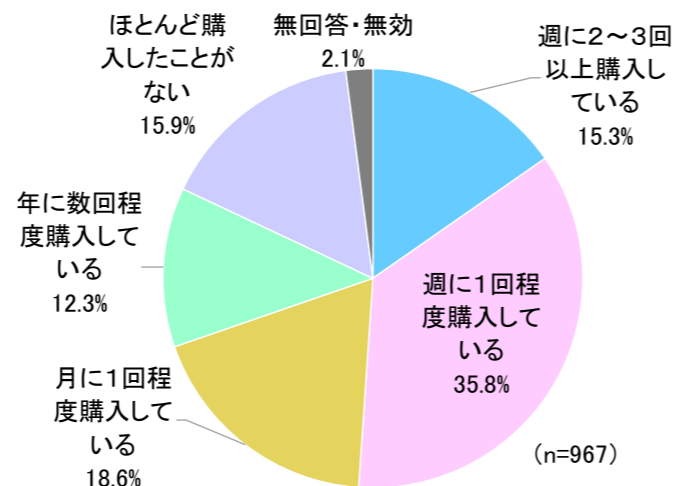
図①農産物(米、野菜)の主な購入場所、サービス



◇地元農産物の購入状況

- ・地元農産物（栗東市または滋賀県内の農産物）を購入する頻度について、回答者の約半数が「週に1回程度」以上の頻度で購入しています。（図②）
- ・購入場所として、「市内のスーパー等」がよく利用されるほか、市内の直売所（田舎の元気や）や道の駅（アグリ郷栗東、こんぜの里りっとう）、また市外のスーパーなども利用されています。

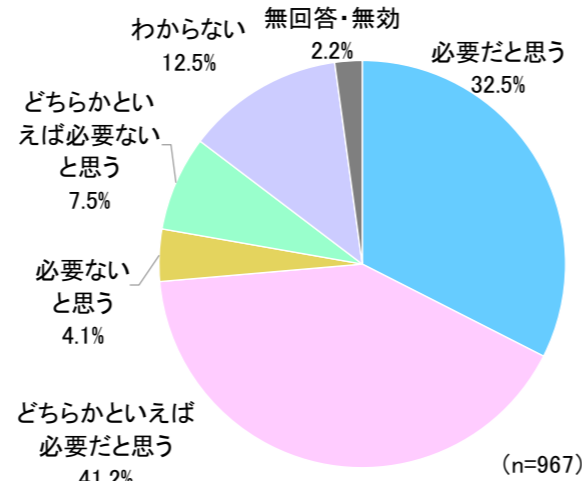
図②地元農産物の購入頻度



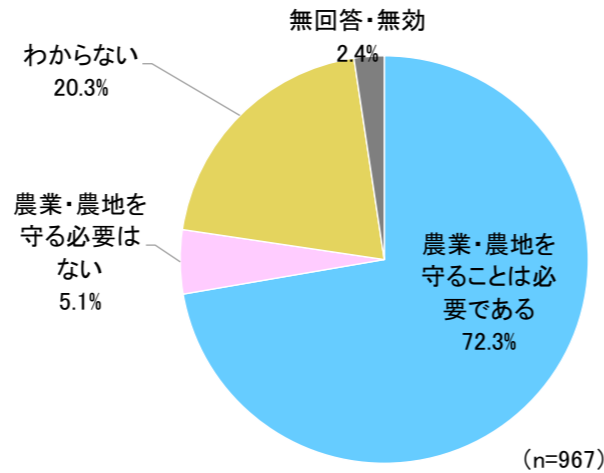
◇まちなか（市街地及び周辺）の農業について

- ・まちなかの農業や農地があることについて、「どちらかといえば必要だと思う」が最も多く、「必要だと思う」と合わせて、回答者の7割強が必要と認識しています。（図⑤）
- ・まちなかに農地があることで**良い点**として「自然を感じることができる」「新鮮な農作物が購入できる」等を挙げています。
- ・**気になる点**として「虫や動物の発生」が最も多く、次いで「農薬散布」「野焼き」などを挙げています。

図⑤まちなかの農業や農地を守ることの必要性



図⑥中山間地域の農業や農地を守ることの必要性



◇中山間地域の農業について

- ・中山間地域の農業や農地を守ることに ついて、回答者の約7割が「守ることは必要である」としています。（図⑥）
- ・**保全が必要な理由**として、「地域の暮らしを維持していくため」が最も多く、次いで「農産物の主要な供給源」「美しい棚田や農村の風景を維持していくため」などを挙げています。

●栗東市の農業のイメージとして、「都市と農業の共存」が特徴であり、まちなかに農業・農地が存在することについても、自然を感じられるなど肯定的な意見が多く挙げられています。

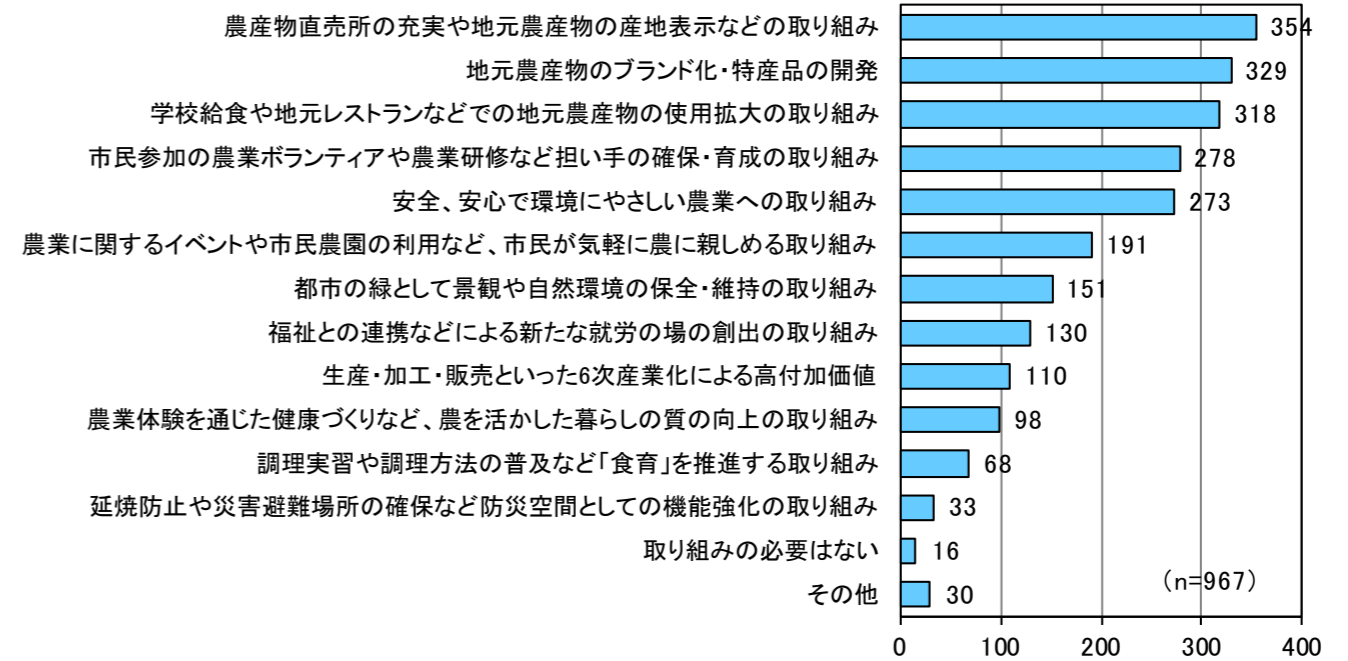
●一方で、全国に誇る農産物がないなど、農業自体の魅力に乏しく、中山間地域の維持のため農業の保全が必要等との意見も踏まえた、農業の魅力づくりや地域活性化の取組を強化、推進していく必要があります。

栗東市の農業の振興について

◇栗東市の農業振興に向けた取組

- ・**農業振興に向けた取組**として「農産物直売所の充実や地元農産物の産地表示など」が最も多く、次いで「ブランド化・特産品の開発」、「学校給食や地元での地元農産物の使用拡大」、「担い手の確保・育成の取組み」「安全、安心で環境にやさしい農業」となります。（図⑦）

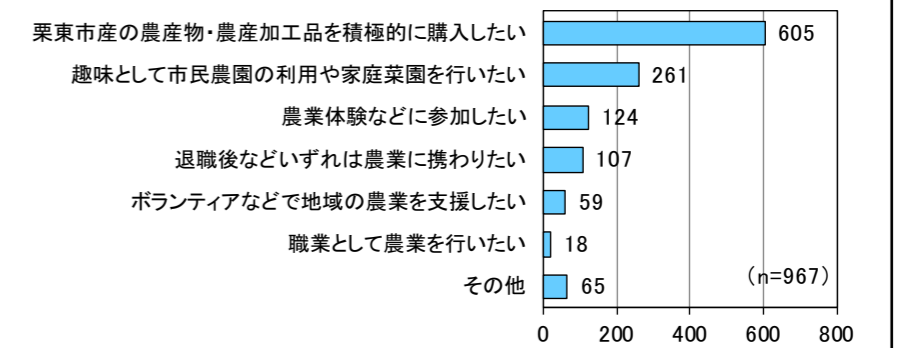
図⑦栗東市の農業振興に向けた取組



◇市民と農業との関わり方について

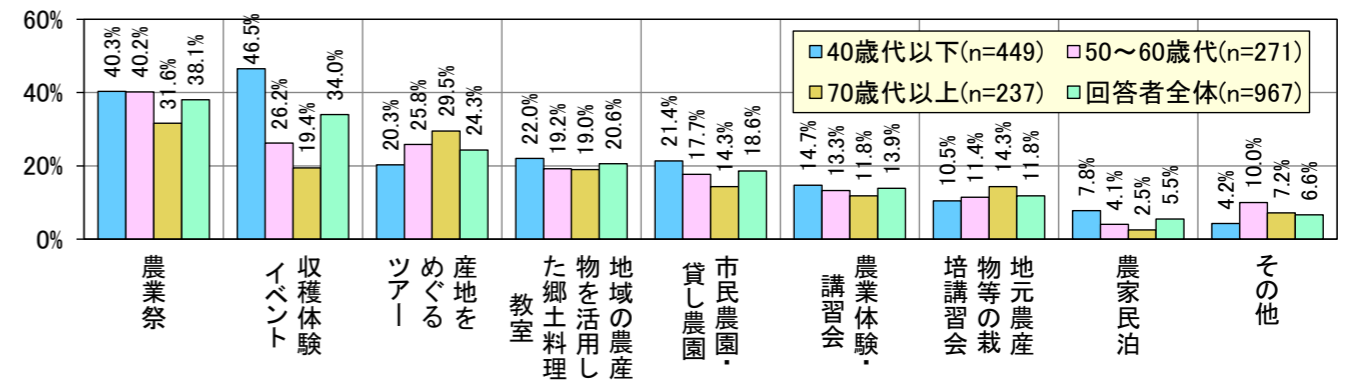
- ・農業活性化に向けて、**自身**が**取り組みたいこと**として、「栗東市産の農産物・農産加工品を積極的に購入したい」や「市民農園の利用や家庭菜園を行いたい」などが挙げられました。（図⑧）

図⑧農業活性化のため取り組みたいこと



- ・**参加したいと思う交流、イベント**として、「農業祭」が最も多く挙げられたほか、特に若い世代で「収穫体験イベント」が多く挙げられました。（図⑨）

図⑨参加したいと思う交流、イベント（回答者全体及び年齢区分別）



●栗東市の農業振興に向けて、市民が農業を身近に感じることができる取組に対する関心が高く、農産物の地産地消や様々な交流、イベント等を市民や農業従事者とともに推進していく体制整備等が求められます。